

第三号議案 2018年度事業計画

特定非営利活動法人ささしまサポートセンター 平成30年度事業計画書

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人ささしまサポートセンターは、野宿者をはじめとする生活困窮者がその人らしい生活を営めるよう、個々に寄り添いながら医療・生活上の支援を行い、誰もが地域で共に生きられ、居場所をもてるような社会を目指して活動することを目的として、下記の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、生活・医療相談事業、地域生活支援・居場所づくり事業、就労支援事業、居住支援活動事業、啓発・啓蒙事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

ア 生活・医療相談事業

(ア) 事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者の生活・医療に関する相談に応じる。本事業は以下の4つの活動領域で構成する。

①事務所生活相談 ②炊き出し相談・巡回相談

③福祉事務所への同行支援 ④継続支援事業（医療機関との連携事業協力）

(イ) 実施予定日時、(ウ) 実施予定場所、(エ) 従事者の予定人数、(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

従事者) 職：専従職員 バ：バイト ポ：ボランティア

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定 対象者数
①事務所 生活相談	事務所での生活相談・ 家計相談の実施	月・金：10時～12 時半 水：13～15時半	当法人事務所	職2名 ポ2名	相談者延 べ 1600名

②炊き出し相談・巡回相談	炊き出し会場や河川敷等への訪問を通じた医療生活相談の実施	木：18:30～21時 第2日：9時半～11時半 第4土曜日：21:00～	炊き出し会場や公園・河川敷等 名古屋駅周辺	ボ 10名	相談者延べ 1000名
③福祉事務所への同行支援	福祉事務を訪れる際に同行し、手続きの方法等に関する相談を実施	月・金：9時半～12時半	中村区福祉事務所	ボ 3名	相談者延べ 40名
④継続支援	継続的な支援をするため、精神科訪問診療への職員の出向、植田寮訪問や関係機関同行等を実施	随時	当事者宅、関係機関等	職 1名 ボ 3名	相談者 40名

(カ) 収入見込み額

1,832 千円

(キ) 支出見込み額

5,758 千円

(内訳)

給料手当 3,410,000 円、通勤費 117,000 円、法定福利費 627,000 円、リース料 12,000 円、業務委託費 300,000 円、諸謝金 100,000 円、印刷製本費 5,000 円、会議費 100,000 円、旅費交通費 80,000 円、郵便運送費 1,000 円、通信通話料 100,000 円、消耗品費 100,000 円、修繕費 10,000 円、水道光熱費 100,000 円、家賃 590,000 円、手数料・雑費 106,000 円

イ 地域生活支援・居場所づくり事業

(ア) 事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者が居宅での生活に移行した後、地域で孤立することなく健康で文化的な生活が営めるよう、事務所もしくは公共施設等で交流会を実施したり、ニュースレターを発行したり、アパート訪問活動を行ったりする。

本事業は以下の2つの活動領域で構成する。

①交流会 ②アパート訪問活動

(イ) 実施予定日時、(ウ) 実施予定場所、(エ) 従事者の予定人数、(オ) 受益象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定対象者数
①交流会	孤立防止として食事会や交流会、当事者企画（何やろ）、みちくさカフェ、オリーブの会を実施	2回/月	事務所やコミュニティセンター等	ポ 10名	参加者延べ 150名
②アパート訪問活動	居宅生活者の孤立防止、定着支援として、アパート等への訪問を実施	20件/月	居宅生活者のお宅	ポ 20名	延べ 130名

(カ) 収入見込み額

30千円

(キ) 支出見込み額

1,311千円

(内訳)

リース料 60,000 円、業務委託費 252,000 円、諸謝金 10,000 円、印刷製本費 200,000 円、会議費 33,000 円、旅費交通費 8,000 円、郵便運送費 200,000 円、通信通話料 5,000 円、消耗品費 158,000 円、水道光熱費 60,000 円、家賃 200,000 円、賃借料 120,000 円、手数料 5,000 円

ウ 就労支援事業

(ア) 事業内容

就労につながるための支援を行う。本事業は以下の1つの活動領域で構成する。

①就労準備支援

(イ) 実施予定日時、(ウ) 実施予定場所、(エ) 従事者の予定人数、(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定

					対象者数
①就労準備 支援	居宅生活者のボランティア活動による「お手伝い隊」活動や駄菓子屋販売を実施	お手伝い隊：1 回/月 駄菓子：4回/ 月	事務所・地域 社会等	ポ 20 名 (当事 者)	従事者と 同様

(カ) 収入見込み額

80 千円

(キ) 支出見込み額

236 千円

(内訳)

駄菓子仕入れ 60,000 円、業務委託費 168,000 円、会議費 6,000 円、消耗品費 2,000 円

エ 居住支援活動事業

(ア) 事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者が居宅での生活を営めるように住居支援を行う。

本事業は以下の2つの活動領域で構成する。

①中間施設運営 ②シェルターの運営

(イ) 実施予定日時、(ウ) 実施予定場所、(エ) 従事者の予定人数、(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定 対象者数
①中間 施設運 営	アパート生活移行を支援するために「ステップハウスみちくさ」を運営	通年	中村区内のア パート	ポ 6 名	入居者 5 名
②シェ ルター の運営	関係機関と連携をして居住場所の提供がメインとなるシェルターを運営	通年	中村区内のア パート	ポ 5 名	入居者 のべ 20 名

(カ) 収入見込み額

6,866 千円

(キ) 支出見込み額

3,216 千円

(内訳)

リース料 10,000 円、業務委託費 168,000 円、旅費交通費 27,000 円、通信通話料 2,000 円、物品資材費 50,000 円、消耗品費 20,000 円、修繕費 50,000 円、水道光熱費 160,000 円、家賃 2,652,000 円、保険料 70,000 円、手数料 7,000 円

オ 啓発・啓蒙事業

(ア) 事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者に対する理解を深めるとともに、会員及びボランティアメンバー拡大を図ることを目的に、市民向けの講演会、ボランティア説明会およびホームページの拡充等を開催する。

(イ) 実施予定日時

年 3 回程度 (6 月、11~12 月頃) を予定。

(ウ) 実施予定場所

名古屋市内の公共施設等

(エ) 従事者の予定人数

ボランティア 20 名

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

一般市民 10~100 名

(カ) 収入見込み額

10 千円

(キ) 支出見込み額

30 千円

(内訳)

諸謝金 30 千円

カ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

本事業は以下の活動領域で構成する。

①アフターフォロー事業「あしたば」

②学習支援「Smyle」

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定対象者数
アフターフォロー事業「あしたば」	一時保護所退所者向けの相談支援・生活支援 生活保護受給世帯への家計相談	月～金曜	居宅生活者のお宅	職・バ 8 名	150 世帯
学習支援「Smyle」	生活保護世帯・ひとり親の中高生を対象に無料学習会を実施	毎週火水木金曜日 18時～20時	名古屋市内の公共施設等3か所	バ 40 名	50 名
無料宿泊所での退所相談	無料宿泊所（旧船見寮）の利用者に対し退所後の生活についての相談を行う	2019年1月2日	無料宿泊所（旧船見寮）	職員 6 名	50 名

(カ) 収入見込み額

41,673 千円

(キ) 支出見込み額

41,828 千円

(内訳)

給料手当 28,970 千円、通勤費 1,879 千円、法定福利費 3,555 千円、福利厚生費 100 千円、リース料 155 千円、業務委託費 906 千円、諸謝金 503 千円、印刷製本費 464 千円、旅費交通費 1,404 千円、通信通話料 919 千円、消耗品費 494 千円、水道光熱費 118 千円、家賃 1,044 千円、賃借料 548 千円、保険料 211 千円、研修費 240 千円、手数料 279 千円